

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちかいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 529

2024
3.25 [Mon]



「十八森早春賦」

撮影者/田川 和彦

表紙の写真は、第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール
秋田の農業&農村部門(春の章)において最優秀賞を受賞された作品です。

(撮影場所:にかほ市冬師)

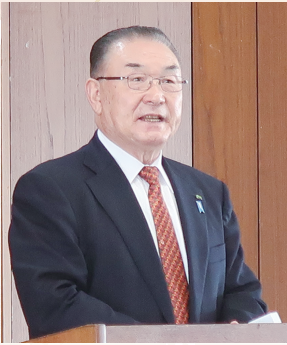
目次

CONTENTS

本会第66回通常総会	2
水土里ネット秋田・事業計画(重点事項)について	4
男女共同参画推進事業について	5
第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール	6
能登半島災害派遣について	8
令和5年度女性セミナー	9
女性事務局長に聞く! 土地改良区リレーインタビュー(北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤則子氏)	10
令和5年度秋田県受益農地管理強化委員会・秋田県管理運営体制強化委員会	11
随想	11
水土里レポーターによる写真投稿(内越土地改良区 職員 伊藤 孝弘氏)	12
リレー感想文	12
編集後記	12

本会第66回通常総会

— 農業・農村の持続的発展に向けて —



▲高員会長挨拶

3月18日(月)、本会第66回通常総会が県社会福祉会館(秋田市)で開催され、会員84名(内、委任状39名)が出席した。

開会にあたり高員会長が、「新年早々に発生した令和6年度能登半島地震によって、お亡くなりになられた方の御冥福を申し上げるとともに、その御家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。農業農村を取り巻く情勢は、毎年のように発生する大規模自然災害や生産現場における労働力不足に加え、国際情勢の緊迫化に伴う生産資材や燃料の高騰など、厳しい状況が続いており、国では食料安全保障の強化が喫緊かつ最重要の課題であるとしている。

今後、食料・農業・農村基本法の改正案審議が本格化する見込みであり、改正法が施行されると国の農業政策は食料安全保障の確保に向けて新たなステージを迎えることになる。

本会では、最新の農業政策にも的確に対応して支援業務の一層の充実を図り、本県の農業・農村の持続的発展に貢献できるように、役職員一同、精進していく」と挨拶を行った。

引き続き、土地改良功労者表彰が行われ、1団体と個人9名が栄えある表彰を受けた。その後、来賓の皆様を代表して佐竹敬久秋田県知事、前島明成東北農政局長(代読：八百屋市男地方参事官)、富樫博之衆議院議員からご祝辞を頂戴し、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員からのメッセージが紹介された。



▲佐竹秋田県知事祝辞

議事では、伊藤稔理事長(秋田県仙北平野土地改良区)を議長に選任し、令和4年度事業報告書・貸借対照表・一般会計収支決算書及び財産目録、令和5年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、令和6年度事業計画、一般会計収支予算等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに議決された。

令和6年度事業計画の重点項目として、(1)持続可能で効率的な生産基盤の確立に向けた支援、(2)防災・減災、国土強靱化に向けた支援、(3)土地改良区体制強化に向けた支援、(4)豊かな農村環境づくりへの支援、(5)活力に満ちた地域活動への支援が位置づけられた。また、欠員となっていた役員の補欠選任がなされ、員外を含む理事4名が選任された。最後に金森常務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。

総会直後には理事による互選会が行われ、欠員となっていた副会長を決定した。なお、土地改良功労者表彰者と選任された役員は次のとおり。



▲富樫衆議院議員祝辞

令和5年度秋田県土地改良功労者表彰(敬称略)

■ 団体表彰

【金章】 かつの土地改良区

■ 個人表彰

◇石川善衛(かつの土地改良区理事)、堀部栄一(北秋田市土地改良区理事)、羽沢淳子(大館市土地改良区職員)、伊藤重好(琴丘土地改良区理事長)、菊地福一郎(新城川土地改良区理事長)、森拓二(にかほ市土地改良区会計担当理事)、笹山義夫(秋田県南旭川水系土地改良区理事)、後藤保(秋田県雄物川筋土地改良区事務局長)、佐藤達也(秋田県雄物川筋土地改良区管理課長補佐)

選任された理事の方々(令和6年4月1日付)

役 職	支 部・区 域 等	所 属 団 体 名	職 名	氏 名
理事	鹿角支部	かつの土地改良区	理事長	田口 裕
理事	大館・北秋田支部	大館市土地改良区	理事長	畠山 清俊
理事	山本支部	秋田県能代地区土地改良区	理事長	薩摩 勝幸
員外	県内	学識経験者	仙北地域振興局長	舩谷 雅広



▲表彰の様子



▲受賞者



▲総会(議事)



▲新役員を選任

〈決議文〉

記

- 一 地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算を安定的に確保すること
- 一 農業の成長産業化に向けて、農地の大区画化や水田の汎用化・畑地化とともにスマート農業に対応した基盤整備を一層推進すること
また、農地中間管理機構との連携による担い手への農地集積・集約化も併せて推進すること
- 一 農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化などの機能強化対策に加え、ICTの導入等による水利用の効率化や水管理の省力化等を推進すること
併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、引き続き十分な予算を確保すること
- 一 土地改良区の組織運営体制の強化に向けて、男女共同参画や統合整備を一層推進するとともに、燃料価格や電気料金の高騰に対する支援を充実すること

令和6年3月18日

秋田県土地改良事業団体連合会 第66回通常総会
(水土里ネット秋田)

【令和6年度】 水土里ネット秋田・事業計画（重点事項）について

水土里ネット秋田では、令和6年度事業計画を第66回通常総会(3/18開催)で承認いただきました。

基本方針

本県においては、高齢化等を背景とした労働力不足や大規模自然災害の頻発化などに加え、生産資材や燃料の高騰など、生産現場は厳しい状況が続いております。

本県の農業・農村が持続的に発展し、食料の安定供給の役割を担っていくためには、ほ場の大区画化や水田の汎用化・畑地化を一層推進するとともに、スマート技術の導入等による生産性の向上や需要に応じた農産物の生産基盤の整備を進めることが必要です。

令和6年度は、次の事項を重点項目として、会員、国、県及び関係団体との連携を図りながら着実に実施していくことで、本県の農業・農村の持続的発展に貢献してまいります。

重点項目

1 持続可能で効率的な生産基盤の確立に向けた支援

「あきた型ほ場整備」を念頭に、引き続き、調査・計画、設計、換地までの一連の業務を実施して基盤整備を支援してまいります。

特に、今後実施地区の増加が見込まれる中山間地域におけるほ場整備については、平場に比べて条件が不利な地域特性に配慮した基盤整備を支援してまいります。

2 防災・減災、国土強靱化に向けた支援

「秋田県ため池保全サポートセンター」では、引き続き、相談対応や現地パトロール等を実施するほか、管理者が不在で活用される見込みのない農業用ため池については廃止手続き等について支援してまいります。

また、農業水利施設の長寿命化対策として、機能診断等の結果を水土里情報システムへデータベース化して、施設の管理・検索等の効率化を図り、データを有効活用して改築・改修事業に最適な補助事業等を提案し、適切な保全管理を支援してまいります。

3 土地改良区体制強化に向けた支援

多様な人材が活躍できる盤石な運営体制の実現に向けて、女性理事を登用した土地改良区に対する助成金の交付や研修会の実施、相談窓口の設置等により、土地改良区における男女共同参画の推進を積極的に支援してまいります。

4 豊かな農村環境づくりへの支援

農業集落排水について、老朽施設の機能強化のための計画的な改築・更新や統合を助言していくほか、改築の場合は先進的な技術の導入について提案してまいります。

5 活力に満ちた地域活動への支援

「秋田県多面的機能支援協議会事務局」として、引き続き、保全活動の適正かつ円滑な実施を支援してまいります。

また、人材等が不足していることから、県等と連携して人材の募集とともに、保全活動組織とのマッチングを行い、保全活動の継続を支援してまいります。